



医療

リバーサイド内科クリニック様

導入目的

A4モノクロレーザープリンター／領収書・処方せん・宛名ラベル等の印刷
A3ビジネスインクジェット複合機／薬剤情報提供書等のカラー印刷
感熱ラベルプリンター／検体容器に添付するバーコードラベル印刷

導入概要

HL-L5100DN(A4モノクロレーザープリンター)、
MFC-J6995CDW(A3ビジネスインクジェット複合機)、
QL-580N(感熱ラベルプリンター)を導入

山下院長はクリニック開院に伴い、院内電子化のための画期的な診療支援ソフト「RS_Base」を開発されました。院内のデジタル化と診療の効率化に取り組む第一人者として、「十分な説明で分かりやすい診療」を実現しています。

- 開院／1998年5月
- 診療内容／内科、胃腸科
- 所在地／広島県広島市東区牛田南1-7-8



狭い受付に設置できるA4レーザープリンター、RS_Baseと連携したA3インクジェット複合機、目的に応じた機器を活用しています。



リバーサイド内科クリニック | 院長 | 山下郡司 様

当院では、電子カルテシステムや、私自身が開発した診療支援ソフト「RS_Base」、また株式会社福山臨床検査センターの臨床検査システムを使い、院内のデジタル化を進めてきました。そしてそれらと連携した文書出力は、ブラザーの様々なプリンターを目的別に使い分けています。その結果、決して広くはない診療所のスペースの有効活用と経費削減、またスタッフの業務効率化を実現できました。診療所の円滑な運営には、大型複合機からの出力だけではなく、複数の機器を賢く選択した方がよいと感じています。



狭い場所に設置できる A4レーザープリンター

印刷枚数の多い領収書や処方せんを狭い受付カウンターで出力可能。

受付カウンターに、A4モノクロレーザープリンター「HL-L5100DN」を設置。小型サイズで高速プリント、しかも高耐久性(約30万枚)と低ランニングコストを実現しているため、印刷枚数の多い領収書や処方せん等の出力に最適です。万が一の故障時にも、検査室にある同機種から印刷できるようにしてあります。



A4モノクロレーザープリンター「HL-L5100DN」

A3スキャン、カラー出力に A3インクジェット複合機

「RS_Base」と連携したA3文書のスキャンや各種カラー印刷が可能。

調剤室に設置されたA3ビジネスインクジェット複合機「MFC-J6995CDW」は、薬剤情報提供書や血液検査結果・内視鏡画像等を、鮮明なカラーで印刷。ファーストプリントの時間が速く、患者様をお待たせすることもありません。また、他院が発行したA4またはA3の検査結果書やA4の診療情報提供書をスキャンし、診療支援ソフト「RS_Base」で保管しています。



A3ビジネスインクジェット複合機「MFC-J6995CDW」

検体バーコードラベルの発行に 感熱ラベルプリンター

先進的な検査システムと連携し、検査業務の合理化を一挙に実現。

検査室には、株式会社福山臨床検査センターの臨床検査システムと連携した感熱ラベルプリンター「QL-580N」が設置されています。検体容器に貼付するバーコードラベルを発行して管理することで、検体の取り違えを防ぐことが可能となります。また、簡単・低コストで印刷できるため、転記する手間とミスがなくなり、作業が大幅に合理化されました。なおシステムから検査依頼書を印刷するA4モノクロレーザープリンターとして「HL-L5100DN」が使われています。



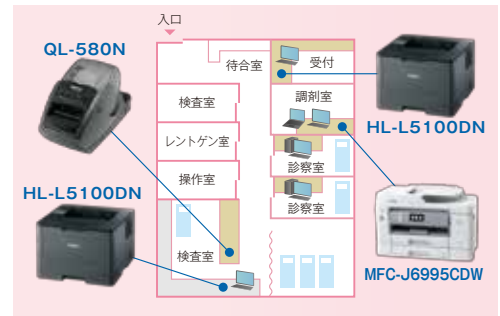
感熱ラベルプリンター「QL-580N」(生産終了品)

だから私は
ブラザーを使っています！

クリニックの省スペース化・コスト削減・業務効率化に ブラザー製品が大きく貢献しています。

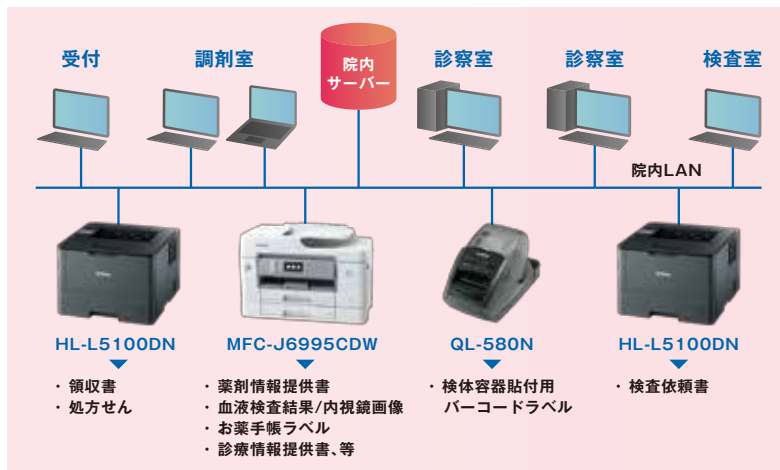
リバーサイド内科クリニック様のプリンター活用方法

- リバーサイド内科クリニック様では、3種類のブラザー製プリンターを目的別に活用しています。受付カウンターには、高耐久A4モノクロレーザープリンター「HL-L5100DN」を設置。コンパクトなサイズで狭いカウンター内でもピッタリと収まります。
- 受付の隣にある調剤室には、A3ビジネスインクジェット複合機「MFC-J6995CDW」を設置。他院が発行した診療情報提供書や各種検査結果をスキャンし、診療支援ソフト「RS_Base」でいつでも閲覧できるよう保管します。また薬剤情報提供書や、鮮明なカラー印刷が必須である内視鏡画像等を出力しています。
- 検査室には、検体容器に貼付するバーコードラベルを印刷する「QL-580N」と、検査依頼書を出力する「HL-L5100DN」が設置され、臨床検査システムと連携して検査業務の効率化に貢献しています。



各種システムとプリンターの連携方法

リバーサイド内科クリニック様の院内には、合計7台のPC(サーバー1台・クライアントPC6台)が設置されています。各PCは院内LANにネットワーク接続されており、ブラザー製の各プリンターも院内LANで接続されています。すべてのPCには、電子カルテシステムと、山下院長が開発した診療支援ソフト「RS_Base」が設定されており、また検査室など3台のPCには臨床検査システムが設定されています。



RS_Baseとの連携によるA3ビジネスインクジェット複合機の活用方法

他院が発行した各種文書(診療情報提供書、人間ドック・検査結果、血液検査結果等)は、A3ビジネスインクジェット複合機「MFC-J6995CDW」でスキャンされ、RS_Baseにより画像として保管されます。文書にはA4とA3があるため、一般のドキュメントスキャナーでは難しいA3スキャンが可能な「MFC-J6995CDW」が威力を発揮。また大型複合機に比べてコンパクトサイズで設置場所にも困りません。いつでも迅速に各種文書が閲覧できる診療環境を実現しています。



画期的な診療支援ソフト「RS_Base」とは?

RS_Baseは、山下院長が開発した画像データ(レントゲン・内視鏡・超音波等)や検査データ(心電図・血液検査結果・聴力等)をファイリング・閲覧するための診療支援ソフトです。診療を支援するためのグラフ化機能、異常データ抽出など、デジタルファイリングならではの機能を搭載した総合診療支援ツールです。

RS_Baseは、開発当時、1台のPCで各種診療の画像データを閲覧できるツールがなかったため、医療界で大きな注目を集めました。導入コストも格安であり、全国2,769ユーザー(2017年6月現在)が導入しています。なおRS_Baseのソフト開発・導入支援は、株式会社メディカルインが行っています。

おすすめ機種

A4モノクロレーザープリンター 「HL-L5100DN」



- 印刷速度/モノクロ最高40枚/分
- ランニングコスト/モノクロ約2円/枚
- 装置寿命/約30万枚/5年間
- インターフェイス/USB、有線LAN

※測定環境等の詳細は、ブラザー製品ページにてご確認ください。

A3ビジネスインクジェット複合機 「MFC-J6995CDW」



- 基本機能/最大A3までの印刷・コピー・スキャン・ファクス
- 装置寿命/約15万枚
- 印刷速度/A4カラー・約20ipm、A4モノクロ・約22ipm
- インターフェイス/USB、有線LAN、無線LAN

※測定環境等の詳細は、ブラザー製品ページにてご確認ください。

感熱ラベルプリンター 「QL-820NWB」



- 基本機能/ラベル幅最大62mmに対応、黒赤2色同時印刷が可能
- インターフェイス/USB、有線LAN、無線LAN、Bluetooth

※詳細は、ブラザー製品ページにてご確認ください。